

令和7年度 東海北陸6県ブロック会議 公益法人等との意見交換



内閣府公益認定等委員会では、令和7年10月16日に湯浅委員長代理及び黒田委員の出席の下、東海北陸6県ブロック会議（内閣府公益認定等委員会委員と合議制機関委員との意見交換会、公益法人事務主管課長会議）を、翌17日には「公益法人等との意見交換」（愛知県所管3法人との意見交換）を行いましたので、その様子を紹介します。



1. 東海北陸6県ブロック会議（石川県・三重県・富山県・岐阜県・福井県・愛知県）

◎内閣府公益認定等委員会委員と東海北陸6県合議制機関委員との意見交換会

意見交換会では、立入検査・点検調査の実施方法等や、奨学金給付事業における「事業の合目的性の確保の取組」の確認のほか、外部理事及び外部監事の選任などについて議題が提起され、活発な議論や意見交換が行われました。

《公益信託制度に関する説明》

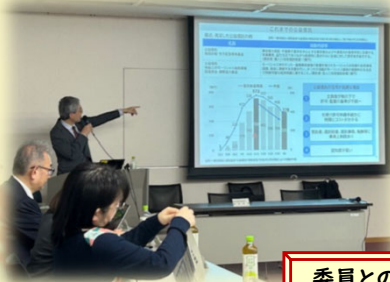
高角事務局長から、令和8年4月から開始予定の「公益信託制度の概要」について説明を行い、公益信託制度の認識共有を図りました。

《令和6年改正法施行後の公益法人制度の最近の動向についての説明》

河合課長補佐から、寄附の促進を通じた民間公益活動の活性化やガイドラインの見直し等の今後の予定についての説明を行い、各県所管法人における寄附募集の取組事例の紹介、寄附を促進する上での課題などについて意見交換が行われました。



出席委員の集合写真



委員との意見交換会の様子



主管課長会議の様子

◎東海北陸6県公益法人事務主管課長会議

会議では、外部理事・外部監事の選任が間に合わなかった法人への対応や、移行法人における実施事業会計の不適切な支出と定期提出書類の提出懈怠への対応のほか、公益法人への立入検査など、各県及び内閣府の状況と考え方について忌憚のない意見交換や情報共有が行われました。

2. 公益法人等との意見交換

愛知県所管の3法人にお集まりいただき、それぞれの活動内容を伺うとともに、全体で意見交換を行いました。各法人からは、事業概要の説明のほか、現状の様子に加え未来構想、事業実施における意義や使命、課題に対する検討や解決策、より良い法人運営のために創意工夫しながら意匠惨澹しているなどの貴重なお話をいただきました。



意見交換の様子



出席者の集合写真

ブロック会議に出席いただいた東海北陸6県の合議制機関委員及び事務担当者の方々、意見交換に参加いただいた公益法人の皆様、そして、全体の開催準備で大変お世話になった幹事県である愛知県の皆様にあらためて感謝申し上げます。

3. 「公益法人等との意見交換」にご参加いただいた公益法人の紹介

【公益財団法人名古屋まちづくり公社】

事業の概要

- 公1: 土地区画整理事業の促進及び支援
- 公2: 歴史的建造物の保存及び活用の促進
- 公3: 地域拠点の活性化
- 公4: まちづくりに関する調査研究等
- 公5: 地域資源を活かしたまちづくり
- 収1: 不動産貸付等
- 他1: 中志段味土地区画整理事業の再建支援

設立年月日: 昭和36年7月25日

移行年月日: 平成24年4月1日(公益財団法人に移行)

ホームページ: <https://www.nup.or.jp/>



金山南ビル



公5事業の笠寺地区における対象物件のパブリック空間活用事例の様子

金山南ビル「名古屋都市センター」視察の様子

活動説明では、設立以来、まちづくりのハード面での事業を中心に取り組みを行ってきたが、近年、地域まちづくりに対する住民の関心が非常に高まってきているので、名古屋市より都市再生推進法人の指定を受けたこともあり、今後は、特にエリアマネジメントを始めとしたソフト事業に注力しながら、地域づくりを支援していきたい旨のお話をいただきました。名古屋都市センターにて、現場視察も行いました。

【公益財団法人明治村】

明治村五丁目遠景(秋)



事業の概要

- 公1: 主に明治時代につくられた歴史的建造物等を展示公開する博物館を運営する事業
- 収1: 施設の賃貸借事業
- 収2: 展示建造物を活かした「明治演出」事業
- 収3: 「明治村茶会」事業
- 収4: 監修の委託を受けた文化財等を保全する事業

設立年月日: 昭和37年7月16日

移行年月日: 平成24年4月1日(公益財団法人に移行)

ホームページ: <https://www.meijimura.com/foundation/>



東松家イメージブガイドの様子



活動説明では、明治時代等の歴史的意義のある建造物を単に移築・復元・展示するのみならず、その補修対応やファンドレイジングの推進にも尽力されていること、また、建造物を中心とした保有する歴史資料等を残すことを通じて、明治時代の「挑戦や異文化受容」という進取の精神を伝えることで、現代の人々に未来の指針を提供していきたい旨のお話をいただきました。これから先の未来を見据えた活動に取り組んでいました。

【公益財団法人刈谷少年少女発明クラブ】

事業の概要 公1: 科学体験を通じて健全で創造性豊かな児童又は青少年の育成を図るための発明クラブの運営

設立年月日: 昭和49年6月29日

公益認定日: 平成26年4月1日(公益財団法人豊田理化学研究所から分離独立)

ホームページ: <https://kariya-hatsumei.jimdofree.com/>



拠点施設



発明工作取組風景



2024 Odyssey of the Mind世界決勝大会



ビークル部門1位



活動説明では、日本で初めてできた発明クラブで、約50年の歴史を持ち、子供たちの「未来を生き抜く創造性」を育成するため、技術力・発想力・集中力を養い、また達成感を味わえるよう、様々な工夫を凝らしながら活動を展開していく中で、会員数も増加し、日本のみならず、世界でも認められる発明品を製作するクラブ員を輩出している旨のお話をいただきました。目に見える大きな成果を収めていました。